



2026 年 丙午曆  
本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



発行 / 株式会社 電建

〒660-0805

兵庫県尼崎市西長洲町1丁目2-45

TEL: 06-6489-2222

FAX: 06-6489-2223

WEB: http://m-denken.com

With your company

## でんけん 倶楽部 NEWS

2026.1 第 136 刊

今月の  
工事あうかる



工事部  
佐藤 友裕

こどもたちの未来を照らす

先日、鶴見緑地公園で行われた「夢の家お仕事体験フェスティバル」に参加してきました。このイベントは、子供たちが、家や暮らしにまつわる様々な仕事を体験し、働くとはどういうことかを実際の体験を通して知り、社会の役に立って必要とされる経験をする事を目的として開催されるイベントで、今回が11回目の開催です。

初めての出席にあたり、何をして貰えば子供たちが喜ぶのかをみんなで話し合った結果、照明を点けるための配線体験をして貰う事になりました。

予定の時間は30分。その中で作業をするために、電気のおしくみを知れるようにする簡易の壁と天井を作り、説明の為にそんな時間に時間を掛けずに作れるだろう、と思っていましたが、いざ作り始めると、「プロとして完成度の低い物は作れない」という思いが湧いてきて、思っていたよりも何倍も時間を掛けてしまいました。

当日は、楽しそうにしている子供たちを見て僕たちの方が元気を貰いました。この子供たちが安心して、幸せに暮らせる世の中を作って行けるように、今年もエネルギーを注いでいきたいと思います。



電建  
diary



工事事務  
中安 春奈

夢の家

12月某日、鶴見緑地公園で開催された「夢の家お仕事体験フェスティバル」に参加しました。

弊社は今回が初参加で、「こども電気工事士」として、電気の流れを説明し、安全な範囲で作業体験をしてもらい、最後に認定証をお渡ししました。子どもたちが来てくれるか不安もありましたが、ブースにはたくさんの子供もたちが集まり、訪れた親御さんやお子さんはとても楽しんでくださっていて、その姿を見ると心から喜びを感じることができました。

企業がこのようなイベントに参加する意味が分かります。

一般論やSNS上のコメントではなく、実際に双方がリアルに体験することが重要だと感じます。このイベントが今後さらに広がることを願っています。



経営理念

夢への挑戦

私達は電気工事を通じて日本経済の発展を支え  
関わる全ての人の愛が溢れる社会を実現します

会社概要

社 名	株式会社電建
所 在 地	〒660-0805 尼崎市西長洲町1丁目2-45
T E L	06-6489-2222
F A X	06-6489-2223
E - m a i l	info@m-denken.com
U R L	https://www.m-denken.com
事 業 内 容	電気設備工事、空調・換気設備、通信関連設備 防犯・防災設備、その他電気機器販売



新年のごあいさつ  
松本晃幸

新年あけましておめでとございます。旧年中は多大なるご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も引き続きよろしくお願い致します。

今年は午（うま）年で、しかも60年に一度の丙午（ひのえうま）。それは力強さや躍動の象徴の年といわれています。



電建は、昨年7月より18期となっており、先代から数えると51年目に入っています。電気は人類が文明開化から発明した、現代にはなくてはならないライフラインの要であり、生活や命を支えています。この「電気」というジャンルの仕事に携わって50年。今年も全社員が使命感を持ってお仕事をさせて頂きます。

さて、私個人の今年の目標を述べてさせていただきます。私個人は、

一つ目は、【経営哲学】について。まだまだ私の中で中途半端となっている東洋哲学を徹底して学びたいと思っています。その中の一つがそのジャンルの読書です。更に学びを深めるために、今年は中国へ学びに行く機会を頂き、大陸の視点で哲学を実践されている中国の経営者団体と交流を行う予定です。二つ目は、【人生観】について。自分の使命、人生の目的意義を再度腹落ちするまで、日々高めたいと思っています。年に一度訪れている九州のご先祖の墓参りを、今年は春に行う予定です。三つ目は、【経営実践】学んだことを実際の経営での成果に落とし込んでいかなければ意味

がないと考えています。また、新規事業が出来るような力はないですが、社員が心の一体感をもって、お客様にとって最良のサービス構築が出来ると信じております。現在進行中のアイデアを計画的に進めて発展させて行く所存です。更に社員採用活動と、現在の社員（私も含みます）それぞれの更なる知識技術の習得、人間力の増幅を「未来道場」（電建社内での心の勉強会）や諸会での学びを通じて追求していきます。

最後に個人的な趣味のプラモデル。作成待ちの「積みプラ」（作り切れなくて積み上げてるプラモデルの箱）数個のうち、年内に2個は作成したいと思っています（笑）。しかし、時間と準備と集中する時間を作るのがまあ大変・・・最近「没頭する時間」というのも、人間

にはとても大事と世間ではささやかかれています。時には経営から離れ、趣味の時間が新しい自分を見付けるときかけになる気がしています。皆様の新年の目標はいかがですか？お会いした折に是非お聞かせください。

Happy New Year



2026



総務経理部  
佐藤陽香

## 工事進捗会議

電建では、工事の品質向上と業務効率化を目的に、定期的に工事進捗会議を実施しています。

会議には工事部の管理担当、施工担当、事務担当が集まり、進行中の各工事を一つひとつ確認します。お客様からいただいた要望や注意事項、現場での進捗状況を共有することで、情報の行き違いや抜け漏れを防いでいます。また、会議で整理した内容をもとに、参加メンバー以外の社員にも業務を割り振り、分業体制を構築しています。工事内容を全体で把握することで、個々の理解が深まり、業務全体の底上げにつながって、さらに、コミュニケーションも増え、各自の業務の幅が広がることで、各自の成長にもなっています。



## 知ったく情報



工事部  
松本雄大

夏と冬、電気代はどっちが高いの？

皆さんは、夏と冬ではどちらが電気代が高いかご存じでしょうか。正解は「冬」です。4人世帯では、夏より約2,800円高くなるという統計があります。

その理由は主に3つ。

- ① 温度差…外気との温度差が大きい冬は、暖房の消費電力が増えます。
  - ② 日照時間…日照時間が短く、照明を使う時間が長くなります。
  - ③ 在宅時間…外出が減り、暖房やテレビなどの使用時間が増えます。
- そこで、今からできる節電方法をご紹介します。

暖房器具にはそれぞれ得意分野があり、狭い場所を暖めるのに適したもの、一箇所を集中的に暖めるのに適したもの、部屋全体を暖めるのに適したものがあります。用途に合わせて使い分けることで、電気代の無駄を抑えることができます。

また、エアコンは自動運転で一気に設定温度まで上げるほうが、省エネにつながります。さらに、窓からは熱が逃げやすいため、断熱シートやカーテンを活用し、熱を逃がさない工夫をすることで暖房効率を高めましょう。

## 電気工事士奮闘記



工事部  
國重幸太郎

### ブレーカーの役割と更新の目安

ブレーカーの更新目安は、一般的に10～15年とされています。

ブレーカーは、定められた値を超える電流が流れた際に電気を遮断し、過電流による火災や設備故障を防ぐ、重要な保護機器です。いわば、異常時に自動で電源を遮断し、安全を確保するためのスイッチの役割を担っています。

しかし、経年劣化が進むと動作不良を起こし、本来遮断すべき場面で作動しない、または手動での入・切操作ができなくなるといった不具合が発生することがあります。

このような状態では、停電時に速やかに復旧できなかつたり、必要な設備に電気を供給できなくなるなど、業務や日常生活に支障をきたす恐れがあります。

こうしたリスクを未然に防ぐためにも、ブレーカーは計画的な更新を行うことが重要です。



## 今月のちよつと一言



総務経理部  
佐藤陽香

### 未来会議（月次報告会議）

電建では毎月、社員全員で「未来会議」と称した月次報告会議を実施しています。先月の決算数値はもちろん、各アクションプランの進捗状況、前月にいただいたお客様からのアンケート内容の共有まで、幅広いジャンルについて時間をかけて議論を行います。

私が入社してから早8年となりますが、年々内容が充実し、より深掘りができていると実感しています。経理担当の立場から見ると、一般経費の内訳を公開し、各部でどのような経費が発生しているのか、消耗品の内訳は何か、今月利益が出ていない原因はどこにあるのか等、一つ一つの項目を掘り下げて分析することが非常に学びとなっています。

会計講座で学んだことをより活かせるよう、今後も改良を進めて参ります。



## 笑顔盛り！



総務経理部  
中島依里

### 足るを知る

弊社が毎月開催している未来道場（心を高める勉強会）にて、表題の言葉がとても印象に残りました。

簡単に言うとう、過度な欲を持たず、いま与えられている環境や状況に感謝して生きる、という意味です。忙しい日々の中でつい忘れてしまいがちですが、この言葉に触れ、改めて「すでに自分は多くのものに恵まれているのだ」と気づかされました。

自分の祖先を25代遡ると、なんと安土桃山時代にまでなるそうです。人数にすると25,000万人以上。この膨大な数のうち、誰か一人でも欠けていたら、今の自分は生まれていません。そう考えると、自分が今日ここに生きているということ自体が、奇跡の積み重ねのように感じられました。

こうして命のつながりを感じながら、現状に感謝し、2026年もより一層邁進してまいります。今年も電建をよろしくお願いたします！



先日施工した空調工事の一部風景です。しっかり養生してご対応いたします。

お仕事体験フェスティバル in 電建ブース